



烏丸御池駅からのアクセス

地下鉄烏丸線烏丸御池駅⑤番出口
 三条通を東へ
 ※出口の階段を出て後方、1本目を左折(徒歩5分程度)
 ↓
 京都文化博物館の斜め向かい(ファミリーマート隣)

京都しゃぼんや

〒604-8111 京都市中京区三条通高倉東入榎屋町 55 白鳥ビル1階
 ■営業時間 / 11:00~20:00 ■定休日 / 年中無休(臨時休業除く)
 TEL.075-257-7774 (FAX.075-257-7784)
<http://www.shabonya.com> 京都しゃぼんや 検索

舞妓石鹸
 金箔入
 すまいこせけん



~まいこせけん~
 舞妓石鹸 Story

京の老舗米屋『居初米穀店』の五代目「お米マイスター 居初 隆一郎氏」より、京の舞妓さんが昔から使用していた「米ぬか」を提案して頂き新商品を開発しました。昔はほとんどの舞妓さんが米ぬかで洗顔をしていました。米ぬかの洗顔はきれいに汚れを取り、お肌もしっとりさせる素晴らしい洗顔方法だったようです。玄米を精製して得られる米ぬかにも種類があり、米ぬかの10%に満たない貴重な「白ぬか」を舞妓さんが洗顔に使用していました。精米機の進化で今では、この「白ぬか」がごれる機械は京都に数台しか残っていないようです。

さらに、舞妓石鹸には京の老舗「至善堂 堀金箔粉」の金箔を使用しています。近年、京都のお土産として人気の「あふらとり紙」。その元祖は金箔を作るときに使い古された和紙で、化粧紙として舞妓さんの間で重宝されてまいりました。その昔、至善堂のご主人も舞妓さんにあふらとり紙を配っては喜んでもらっていたそうです。

京都の舞妓さんに使用してもらいたいとの思いで開発した「舞妓石鹸」は舞妓さんゆかりの米ぬか粉、金箔、米ぬか油、シルクを使用して製造しており、先斗町の舞妓さんにもご使用いただいております。

成分と製法のご紹介

成分 ~毎日使う石鹸だからこそ!!からだにやさしい天然成分~

※素材は100%天然成分のみで作られています。

植物油	オリーブ油、パーム油、ヤシ油、米ぬか油、ゴマ油、ホホバ油
天然の香り成分	ラベンダー精油、ヒノキ精油、ゼラニウム精油、オレンジ精油
その他の天然成分	シルクパウダー、米ぬか粉、卵殻膜、トレハロース、ピンククレイ、金箔

製法 ~普通の石鹸とは違う!!秘伝の処方と"コールドプロセス製法"~



京都しゃぼんやの石けんには、100%天然由来の化粧品原料を使用しています。製法は昔ながらの「コールドプロセス製法」。植物油等に含まれる成分を大切を守るため40℃に安定した状態で、攪拌~保温を行い、30日以上熟成期間を経て完成する手間暇かけた製法です。

この製法の最大の特徴はその使用感です。まったりとした泡でしっとり仕上がる石鹸に使用された多くの方が感動されます。

初代石鹸職人 大橋 俊石